

平成30(2018)年度 共同研究評価対象一覧表（年次点検）

領域	研究代表者名	職名	研究課題	開始年月	終了年月
重点	荒木浩	教授	投企する古典性—視覚／大衆／現代	平成28年4月	令和2年3月
重点	大塚英志	教授	「運動」としての大衆文化	平成29年4月	令和2年3月
重点	細川周平	教授	音と聴覚の文化史	平成29年4月	令和2年3月
重点	大橋直義 呉座勇一	客員准教授 助教	応永・永享期文化論—「北山文化」「東山文化」という大衆的歴史観のはざまで—	平成30年7月	令和3年3月
国際	佐野真由子	客員教授	万国博覧会と人間の歴史	平成28年4月	平成31年3月
国際	吉村智博 磯前順一	客員准教授 教授	差別から見た日本宗教史再考—社寺と王権に見られる聖と賤の論理	平成28年4月	令和2年3月
国際	ディック・ステゲウェルン	外国人研究員	東西文明論—日本を東西の中間地として、懸け橋という特殊な使命を与える言説の分析	平成29年8月	平成30年7月
国際	楊際開	外国人研究員	中国近代革命の思想的起源—日本からの思想的影響を中心に	平成30年4月	平成31年3月
国際	瀧井一博	教授	明治日本の比較文明史的考察—その遺産の再考—	平成27年4月	平成31年3月
国際	ローレンス・マルソー 安井真奈美	外国人研究員 教授	身体イメージの想像と展開—医療・美術・民間信仰の狭間で	平成30年4月	令和3年3月
基幹	伊東貴之	教授	比較のなかの東アジアの王権論と秩序構想—王朝・帝国・国家、または、思想・宗教・儀礼—	平成28年4月	令和2年3月
基幹	稲賀繁美	教授	多文化間交渉における「あいだ」の研究	平成28年4月	令和2年3月
基幹	斎藤光 井上章一	共同研究員 教授	近代東アジアの風俗史	平成29年4月	令和2年3月
基幹	倉本一宏	教授	説話文学と歴史史料の間に	平成27年4月	平成31年3月
基幹	苅部直	客員教授	日本における法・政治・宗教の相互関係—近代世界・現代世界との比較の視座による研究	平成30年4月	平成31年3月

平成30(2018)年度共同研究評価対象一覧表（終了時評価）

研究代表者名	職名	研究課題	開始年月	終了年月	成果出版	出版社	出版年月
牛村圭	教授	文明と身体	平成21年4月	平成25年3月	牛村圭編『文明と身体』	臨川書店	平成30年10月
呉京煥	外国人研究員	「日本浪漫派」とアジア	平成22年4月	平成23年3月	呉 京煥・劉 建輝 編『日本浪漫派とアジア』	晃洋書房	平成31年2月
松田利彦	教授	植民地帝国日本における知と権力	平成25年4月	平成30年3月	松田利彦編『植民地帝国日本における知と権力』	思文閣出版	平成31年2月
倉本一宏	教授	説話文学と歴史史料の間に	平成27年4月	平成31年3月	倉本一宏編『説話研究を拓く：説話文学と歴史史料の間に』	思文閣出版	平成31年2月
ボナヴェントゥーラ・ルベルティ	外国人研究員	日本の舞台芸術における身体 ― 死と生、人形と人工体	平成27年9月	平成28年8月	ボナヴェントゥーラ・ルベルティ編著『日本の舞台芸術における身体―死と生、人形と人工体』	晃洋書房	平成31年3月
ミツヨ・ワダ・マルシアーノ	外国人研究員	3.11以後のディスクール／『日本文化』	平成28年9月	平成29年8月	ミツヨ・ワダ・マルシアーノ編著『〈ポスト3.11〉メディア言説再考』	法政大学出版局	平成31年3月